

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年4月30日

事業所名 ILIS CLUB 八尾南

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・個室が2つあり、フロア内は、前面バリアフリーとなっています。	個別、小集団、集団療育など活動内容や特性に合わせたスペースの使い方をしています。
	2	職員の配置数は適切である	17%	83%		お子さまの特性等により、指導員の数が足りない時は利用者の受けいれや支援内容を考え、適切な人員配置を行ってまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・施設内は、トイレを含めバリアフリー化されております。	フロアはバリアフリーで設計されていますが補助が必要なお子さまにはスタッフが付き添い対応しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	50%	50%	・気づいたことを記録し、朝礼や終礼で共有しています。	療育の専門性を高めて質の高い療育を提供できるようにしていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%	・保護者様からご指摘して頂いた内容を、改善策を検討し事業所運営に務めています。	ご意見ご要望をいただけるように関係性を築き環境を整えていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		HPIにて公表しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	50%	50%	・保護者様からご指摘して頂いた内容を、改善策を検討し事業所運営に務めています。	社内の評価結果をスタッフ間で話し合い業務の改善に努めます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	50%	50%	・社内外で定期的研修を行っています。	専門性を高めるため積極的に参加するようにしていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・保護者のニーズを考え作成し、事業所内で担当者会議を行っています。	担当者会議を実施しお子さまの成長や課題に応じた支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	67%	33%	ILISCLUB共通のアセスメントシートを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・事業所会議で翌月の療育の内容の立案や検討を行っています。	1人のスタッフが決めるのではなく複数人で話し合い立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・事業所会議などで固定化しないよう話し合いをしています。	利用者に応じたプログラムが提供できるように工夫しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	67%	33%	・粗大や微細など、活動に応じ課題を決め行っています。	利用者が療育で成功体験の積み重ねが増やせるプログラムを考え、提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・お子様の発達段階に応じて特別支援、小集団支援、集団支援を組み合わせ個別支援計画書を作成しています。	お子さまの発達段階や特性に応じて活動内容を組み分けています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼時に当日の療育内容を話し合い、支援内容の共有や役割の確認をしています。	スタッフ間での情報共有をし次回の支援に繋がっています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・終礼時などに振り返りを行い支援中の様子を共有して記録しています。	スタッフ間での情報共有をし次回の支援に繋がっています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・朝礼終礼ノートに支援内容、連絡事項などを記載しています。	業務日報にて共有し、その他に口頭で引継ぎを行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・保護者様と面談などでモニタリングを実施しています。	無理な目標や必要性が低くなった、達成した目標を評価し次の目標設定をしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%		ガイドラインで示す基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	担当者会議には、児童発達支援管理者と適切な職員が参画しています。	会議での内容は全スタッフにも周知しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	100%	0%	・学校との情報共有、年間計画送迎時用の対応トラブル発生時の連絡を行っています。	イレギュラーにも対応できるように保護者には情報の提供をお願いしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	50%	50%		・医療的ケアが必要な子どもに関して主治医と連絡体制が必要な場合は、保護者と主治医と連携を取り、連絡体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	67%	33%	・就学前の保育園、こども園、支援事業所と連絡を取り、情報共有を行いながら、相互理解に努めています。	保護者の了承を得たうえで今後情報共有の場を作っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	67%	33%		・関係機関との連携を深め、支援内容情報共有し、より良い支援内容を提供できるよう務めてまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	67%	・研修会に参加しています。	関係機関と連携を図り情報収集や情報交換をし支援へと繋がっていきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	17%	83%		・今後は、保護者様とのニーズに合わせながら、検討していきたいと考えています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%		・今後、交流を深めていきます。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳や送迎時に、直接できたことや課題などをお伝えしています。	必要に応じて電話連絡を行い保護者からもご連絡いただけるように関係性を築いていきます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	17%	83%		・ペアレントトレーニングについて、職員の知識を深めていけるよう務めていきます。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に分かりやすく説明を行っています。	内容に変更があった場合は都度ご説明しています。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・保護者の方からの相談や周知、説明については迅速かつ適切に対応できるように心がけています	ご相談しやすい環境作りと定期的なアセスメントや面談を行っています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	50%	50%		・親の会を開催できるように努めてまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者の方からの相談や苦情については、迅速かつ適切に対応できるよう心がけています。	随時体制を整え相談窓口の周知を行います。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月のお便りなどで活動の様子を発信しています。	
	35 個人情報に十分注意している	100%	0%	・鍵付きの書庫や金庫にて保管しています。	おたよりやブログ、インスタの写真掲載についてはダブルチェックを行い同意を得たおさまのみ掲載しています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・一人ひとりに対応をさせて頂いています。	必要に応じて電話対応や個室にての面談などで対応していきます。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%		・今後、できるよう検討してまいります。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・職員では周知しておりますが保護者様へは周知できる機会が少ないため、お伝えできる機会を設けていきます。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・毎月、避難訓練をしたり救命救急の研修をうけています。	月に1回避難訓練を行っているが保護者様への周知ができていないのでおたよりなどで定期的に情報を伝えていきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・年に1回事業所内で虐待防止研修を実施しています。	虐待防止チェックリストを活用しています。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・保護者様と話し合いを行い身体拘束に関する説明を行い同意を得て行っています。	現在、対象のおさまのご利用はいませんがやむを得ずの場合は保護者様に十分説明をし了解を得たうえで個別支援計画に記載していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・食物アレルギー等の対応方法について一覧表を作成し職員間で共有しています。		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・毎日の朝礼、終礼時に職員間で共有を行い事例の話し合いをしています。	事業所内で危険箇所が無いか定期的に確認をし意見を出し合い防止に努めています。	